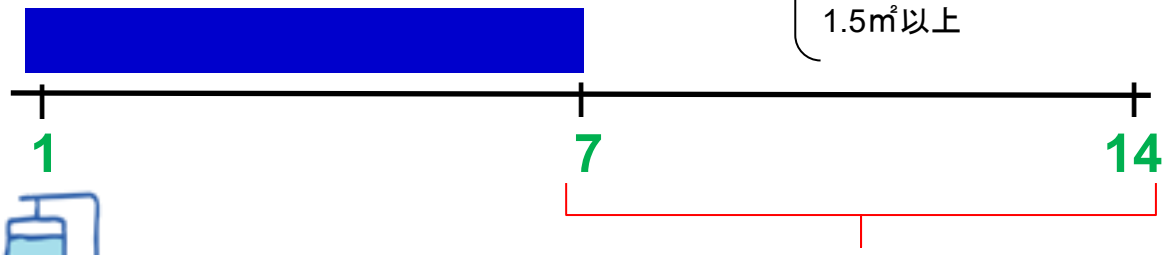
ゲムシタビン＋シスプラチン＋エスワン

GCS療法（ショートハイドレーション）

＊点滴薬（ゲムシタビン 、シスプラチン）、内服薬（エスワン錠 ）を使う治療法です。
＊2週間を1コースとして以下の治療を繰り返します。
＊ゲムシタビン 、シスプラチンは1日目に点滴します。
＊エスワン錠は、朝・夕食後の1日2回、7日間毎日続けて服用し7日間休みます。
＊体表面積は身長と体重から計算されます。

＜1コース 分= 2週間＞

エスワン服用（1日2回　朝夕食後）　7日間



エスワン休薬　7日間

体表面積	エスワン投与量
1.25㎡未満	80mg/日
1.25㎡以上1.5㎡未満	100mg/日
1.5㎡以上	120mg/日

ゲムシタビン®点滴
（1000mg×体表面積）

シスプラチン®点滴
（25mg×体表面積）

川崎市立多摩病院　化学療法運営委員会
薬剤部

点滴　1日目

＜メイン＞

① 血管ルート確保

生理食塩液の点滴をします

②1時間 → ③15分 → ④1時間

腎臓への影響を防ぐために必要な電解質を補充します。
・硫酸マグネシウム

お薬によるアレルギーや吐き気を予防する薬が混ざっています。
・パロノセトロン®
・デキサート®

シスプラチンが混ざっています

⑤シスプラチン終了後に注射 → ⑥1時間 → ⑦30分 → ⑧1時間 → 終了

利尿剤を注射します。腎臓への影響を防ぐために尿の量を増やしシスプラチンの排泄を促します。
・フロセミド

ゲムシタビンが混ざっています

飲み薬（吐き気止め）

2～3日

デカドロン®錠4mg　　1回1個　1日2回　朝・昼食後に服用